

横浜市立釜利谷東小学校 6月号

学校便り

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817 令和2年6月1日

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

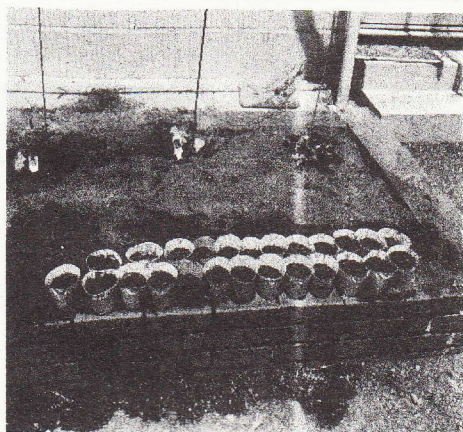
心の柔軟性

副校長 松本 真理

「学校が始まるのは楽しみ？」と子どもたちに聞くと多くの子どもたちは楽しみであると答えます。「勉強が楽しみ」「友達に会いたい」など理由は様々でした。今回の休校は、今までの夏休みなどとは違う窮屈なお休みだったことでしょう。だからより一層楽しみになるのかもしれませんが、学校が始まったとはいえ、残念ながら、今までと全く同じようにというわけにはいきませんが、ようやく新しい一歩を踏み出すことができました。保護者の皆様、地域の皆様には、この3か月間、たくさんのご協力と愛情をありがとうございました。

さて、私が釜利谷東小学校に着任して2か月たちました。たくさん子どもたちと話すことはまだできていませんが、何人かの子どもたちの様子を見て、子どもは、このような状況の中でも、楽しみを見つけ、工夫しながら柔軟に対応して生活しているのだと感心しています。

校庭の雑草が生えているところで熱心に何かをしている子がいました。「何をしているの。」と聞くと「枯れている実から種を出して、まいているの。」という答えが返ってきました。その子は「花びらの数が多いと種の入っている数も多いんだよ。」と教えてくれました。また、4年生の子が校庭開放に来た時に、先生と一緒にヘチマの苗植えと種まきをしていました。次の日には水やりをしている姿が見られました。縄跳びをしている子もいました。「上手だねえ。」と言いながら数を数えてあげたら30回でつかえてしまいました。すると、今度は30回をこえようと一生懸命練習を始めました。



テレビやインターネットなどでもスポーツ選手が家の中でできる運動の仕方を紹介したり、高校生の吹奏楽部の人々がテレワークで一つの曲を演奏したりしていることが話題になっています。発想の豊かな子どもたちなら、限られた空間や環境の中でもきっと楽しさを見つけていくことでしょう。

予測できない未来に対応できる子どもたちの心の柔軟性を信じ、わたしたちも教育に力を注いでいきます。みなさまの温かいご理解とご支援を引き続きいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。